

授業科目 理学療法学概論

【担当教員名】 ○黒川幸雄、古西 勇、奈良 勲 その他非常勤講師	対象学年	1	対象学科	PT
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【概要及び学習目標】				
<p>概要 理学療法士になるための教育機関である大学に入学して最初の専門科目である。従って理学療法学4年間の教育の流れを理解し、学習の方法等を考えるためオリエンテーションを行う。その過程で理学療法学とはどのような学問か、その誕生、発展などを歴史的にたどってみる。また倫理、科学性などについても考えてみる。</p> <p>実際の保健医療福祉分野での理学療法の位置付けと役割などについてチームアプローチの観点から考えてみる。またQOL、バリアフリーなどの新しい概念の理解を深めながら理学療法との関連を明確にする。更に新しい世界の障害分類がどのように変わり、今後どのように普及してゆくのかを考えてみたい。</p> <p>最後に今後の理学療法の課題について理解を深めたい。</p>				
<p>教育目標 理学療法学に関する基本的な知識を理解する。</p>				
<p>学習目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 理学療法学の大学教育における流れを理解する。 2 理学療法学の歴史をたどり、現在の到達点を理解し、今後の学習に生かす。 3 理学療法学の倫理や科学性について考え、今後の学習に生かす。 4 QOL, チームアプローチについて理解する。 5 WHOの新しい障害分類を理解する。 6 発展途上国における障害者の現状とリハビリテーションの理解を深める。 7 保健医療福祉分野における理学療法士の位置付け・役割を理解する。 8 世界のPTについて理解する。 9 現状の理解と今後の課題について考える。 				
回数	学習の主題	学習内容		学習方法
1	理学療法とは	オリエンテーション、学習の内容、順序、関係など		講義
2	理学療法の歴史等	理学療法の歴史、定義、目的、方法、現状と課題など		講義
3	理学療法の理解	映画鑑賞「心の旅」レポート		講義
4	理学療法の理解	リハビリテーションの中での位置付け：VTR鑑賞		講義
5	事例の理解	CVA症例の検討：VTRを用いて急性期リハとPT		講義
6	事例の理解	CVA症例の検討：VTRを用いて回復期リハとPT		講義
7	事例の理解	維持期のリハとPT		講義

8	チーム医療	チーム医療福祉とPT	講義
9	QOL	歴史、定義、評価、プログラムなど	講義
10	世界のPT	WCPT	講義
11	世界のPT	発展途上国の現状とリハビリテーション：古西先生	講義
12	WHO障害分類	新しい障害分類の内容	講義
13	PTの現状	PTの現状を理解する	講義
14	PTの今後の課題	PTの今後の課題について討議	講義

【評価方法】

出席状況・実習の態度・レポート・定期試験等から総合的に評価する。

【履修上の留意点】

出席や授業中の態度（積極性）を重視する。

【使用図書】

教科書・参考書など	編集・著者名	出版社名	発行年・価格
理学療法概論	奈良 勲編	医歯薬出版	2002年・¥6000
理学療法白書		日本理学療法士協会編	2000年・¥1000
参考書			
必要に応じて授業中に適宜紹介したり、資料として配布する。			